

番号	感染症	出典	概要
95	ウエストナイルウイルス感染	Transfusion 2003; 43 (8) : 1023-8	血液分画製剤のウイルス不活化工程（ウイルスバリデーション）がWNVにも有効であることが確認された。
96	エールリッヒア症	Transfusion 2003; 43 (9s) : SP8, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国でヒト顆粒球性エールリッヒア症の病原体に対する抗体保有率が3～4%に達する州がある。冷蔵保存した血液中で18日生存する本病原体は輸血用血液にとって脅威となる可能性がある。
97	エールリッヒア症	Transfusion, 2003, Vol. 43 (9s), SP8	米国でAnaplasma phagocytophilumによる輸血後感染（疑い）症例が過去に1例あった。コネティカット州の2001年2002年の抗体陽性率が1996年とほぼ同程度であった。
98	エンテロウイルス感染	Transfusion 2003; 43 (8) : 1060-6	英国スコットランドでの供血血液のミニプールNAT調査したところ、エンテロウイルスが同定され、血液成分を通してのエンテロウイルスの感染について示唆された。
99	クロイツフェルト・ヤコブ病	Afssaps/communique de press 2004/2/1	輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。
100	クロイツフェルト・ヤコブ病	BLOOD TRANSFUSION INCIDENT INVOLVING vCJD, Department of Health (UK) 2003.12.17	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
101	クロイツフェルト・ヤコブ病	Britissh Medical Journal, 2004; 328 (7432) : 118-119	2003年12月に世界で初めて輸血によるvCJDの感染の可能性のある症例が英国で報告されたことから、今後の感染リスクを最小限にとどめるための対策の提言。
102	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC Infectious Diseases Testimony, 2004. 2. 24	CWDと米国のvCJD患者との因果関係は認められなかったが、ヒトプリオンタンパク質がCWD関連プリオンによって病原性プリオンタンパク質に変換されたという研究報告もある。米国におけるCWDは現在は地域が限定されているが、汚染地域が広がることが懸念されている。
103	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 12/18, 2003; 13 (51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
104	クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press release, 2004. 03. 16	vCJD伝播リスクの予防措置として、1980年以降英国で輸血経験のある人は、供血を禁止する。(2004/04/5から施行)
105	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMEA/CPMP/BWP/5136/03; 11/20, 2003	EMEAのCPMPは、変異性クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）のリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調書に関する審議文書を公表した。
106	クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10 (6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
107	クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674（扁桃及び虫垂）のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
108	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/24, 2003 (Washington Post 12/23, 2003; USDA 12-25 2003)	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確認された。

番号	感染症	出典	概要
109	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040219-0020 (Newsday.com, 2004/02/05)	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
110	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 5/18 2004 (National Science Foundation, 5/12 2004)	CWD②感染した動物の屍骸や排泄物で汚染された環境を介して、CWVが伝播する可能性がある。
111	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail, 20040612-0060 (The Veterinary Laboratories Agency (UK); Veterinary Record. Vol.154 (24), 766-767)	ウシの原因不明の神経疾患(若い雌牛の部分的な脚の麻痺)に関する報告。TSE、各種ウイルス等は陰性であった。
112	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol. 363, February7, 411-412	THE LANCET 2004; vol. 363, February7, 417-421と422-428の論文に対する、コメント。
113	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol. 363, February7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
114	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol. 363, February7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。
115	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 1/30 2004	FDAは反芻動物への哺乳類の血液または血液製品の投与禁止措置を発表
116	クロイツフェルト・ヤコブ病	Afssaps/communique de press 2004/2/1	輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。
117	クロイツフェルト・ヤコブ病	American Chemical Society, Abstracts of Papers 2003; 226 (1-2): pANYL11	血液凝固第八因子製剤及び α プロテイナーゼインヒビター治療製剤を生成する3つの分画工程を対象とするスパイク試験において、添加サンプルとしてvCJD及びsCJD患者の脳組織を用いて試験を実施した結果、血漿分画工程でPrPscが除去された。
118	クロイツフェルト・ヤコブ病	American Journal of Pathology 2004; 164 (1): 143-53	免疫組織化学的手法とWB法を用いて、末梢組織における病原性プリオン蛋白の組織分布と生化学的特性を分析した。散発性および医原性CJDにおいて、プリオン蛋白はリンパ細網組織で蓄積されていなかったが、vCJDでは、蓄積が検出された。しかし、心臓、肺、肝臓などの器官には検出されなかった。
119	クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News online 2004/12/17	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
120	クロイツフェルト・ヤコブ病	Biologicals. 2004; 32(81): 1-10	血漿製剤の製造工程において用いられるナノ濾過により、CJD感染因子(スクレイビー羊脳ホモジネート、精製されたスクレイビー因子)が除去できる。
121	クロイツフェルト・ヤコブ病	BLOOD TRANSFUSION INCIDENT INVOLVING vCJD, Department of Health (UK) 2003	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。

番号	感染症	出典	概要
122	クロイツフェルト・ヤコブ病	Britissh Medical Journal, 2004; 328 (7432) : 118-119	2003年12月、英国保健相は輸血に関連したvCJDの可能性例を英国議会に報告。確認された場合、世界初の輸血によるvCJD感染症例となる。
123	クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	Pallフィルター・シリーズ (Pall Co.) はPrPscを99%以上除去する。
124	クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	羽毛分解酵素ケラチナーゼPWD-1がプリオン分解能を有する。
125	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC HP 12/29 2003	2003年12月に米国で最初のBSE牛が発見された報告
126	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC HP 2004/1/9	米国で1例目のBSE感染牛が発見された。その調査報告
127	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 1/9, 2004/52 (53) : 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
128	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR, 2/21, 2003/52 (7) ; 125-127	野生シカ肉を摂取した男性の退行性神経疾患とCWDとの関連性についての報告
129	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 12/18, 2003; 13 (51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
130	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR WEEKLY 2003, 13 (51), 2	輸血によるvCJDの感染が疑われる報告
131	クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly: vol. 13 no. 51, 2003/12/18	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
132	クロイツフェルト・ヤコブ病	DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMA SERVICES FDA 79th Meeting of BLOOD PRODUCTS 2004/3/18	英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給呈し政策を変更する必要はないとしている。
133	クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health ホームページ Public Health Link 2003/12/17	輸血を受けた患者が死亡し、脳内にCJDの兆候が見られた。ドナーは献血時にvCJDは発症していなかったが、3年後にvCJDを発症し死亡。
134	クロイツフェルト・ヤコブ病	Dev Biol. Basel, Karger, 2002, vol 108, pp93-98.	実験的BSE感染の臨床症状が現れる以前（無症状）の健康的なヒツジの全血を輸血することによって、他のヒツジにBSEが感染する可能性が示唆された。
135	クロイツフェルト・ヤコブ病	Disease Information 16 (52)	米国における初のBSE確定診断

番号	感染症	出典	概要
136	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMBO Reports 2004 Vol. 5 No. 1: 110-115, online version 2004/12/19	フランスでBSEと診断されたウシで特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
137	クロイツフェルト・ヤコブ病	EMA/CPMP/BWP/5136/03; 11/20, 2003	EMAのCPMPは、変異性クロイツフェルト・ヤコブ病 (vCJD) のリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調査に関する審議文書を公表した。
138	クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Institutions press releases 12/18, 2003	英国保健省は、輸血を介してvCJDに感染する可能性がある患者が死亡したことを英国議会に報告した。
139	クロイツフェルト・ヤコブ病	EU Official Journal C24, 28/1/2004 6-19	ヒト用医薬品及び動物用医薬品を介するTSEリスクを最小限にするためのガイドランスの改訂
140	クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2003; 4. 530-3	TSEのひとつであるスクレイピーを経口感染させたハムスターの舌筋、7種類の骨格筋、心筋、坐骨神経に病原性プリオン蛋白が蓄積したことが確認された。
141	クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2004; 5 (1). 110-5	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
142	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA Health&Humans Services HP 2004/1/26	FDAは、BSE発生病原体への曝露からアメリカ国民を保護すると共に、米国のウシ群におけるBSEの伝播を防止するための防衛措置の強化をはかることを発表した。
143	クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA HP 2/27, 2004	BSE、vCJD等に関する情報がQ&Aで解説されている。
144	クロイツフェルト・ヤコブ病	MMWR. 2004; 52 (53) : 1280-1285	ウシ1頭が米国で初めてBSEとして確定されたことをうけて、米国及びカナダの農務省がウシの遡り調査を行っていること、FDAが感染のおそれのある製品の出荷後について調査中であること、また農務省が取った対策措置について。
145	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Blood Service 2003. 12. 17	英国における血液により伝染するvCJDの未知の危険に関する陳述
146	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Blood Service, 2004/03/16	1980年以降英国で輸血経験のある人は、供血を禁止する。(2004/04/5から施行)
147	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2003; 425; 35-6	飼育ミューズジカにおける水平感染あるいは母子感染に起因する慢性消耗病 (CWD) の発生率を比較したところ水平感染が高い発症率で生じることが分かった。
148	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine 2003; 9 (12) : 1442	日本及びイタリアで、それぞれ新種と思われるBSEに感染したウシが発見された。日本のウシは非常に若く症状も現れていなかったが、イタリアのウシは脳内アミロイドの蓄積に異常なパターンが見られた。両国の感染牛のプリオンが同一か、あるいは新しい病原体であるかは不明である。
149	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature. 425, 2003, 648	日本とイタリアでウエスタンブロットのパターンの異なる新しいプリオン株が発見された。

番号	感染症	出典	概要
150	クロイツフェルト・ヤコブ病	Newsday.com 20040219-0020	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
151	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 1/2 2004; Vol. 17-No. 1	米国ワシントン州Mabton近郊で、2003年12月23日、カナダから2001年に米国に輸入されたホルスタイン種の乳牛1頭にBSEが発症した。
152	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol. 16-No. 42	イタリアで2頭の高齢のウシが不定型BSE感染牛と報告された。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは通常のBSEで認められるパターンと異なり、また脳内におけるPrPsc蓄積の分布の相違も認められた。
153	クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE News Press Release, 12/24 2003 他	米国ワシントン州Mabton近郊で、2003年12月23日、カナダから2001年に米国に輸入されたホルスタイン種の乳牛1頭にBSEが発症した。
154	クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 101 (9) p3065-3070 (2004)	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
155	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 1/8, 2004 (EMBO Reports 2004; 5 (1). 110-5) 他	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
156	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/18, 2003 (BBC News online 12/17, 2003)	英国で、1996年にvCJDと考えられる供血者由来の血液を輸血した患者が、2003年秋にvCJDで死亡した。
157	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/24, 2003 (Washington Post 12/23, 2003)	米国ワシントン州で飼育されていたホルスタイン種ウシ1頭が米国で初めてBSEとして疑われた。
158	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/27, 2003 (Dr. S. Shafran, E. Wayne Johnson, Allen Drusys の投稿 12/26, 2003)	米国で、BSEに感染したウシの第1例が報告された。自ら歩行もできないこの感染牛の肉を、米国政府は食用としての使用を許可したことは理解しがたい。
159	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 2/11, 2004 (米国農務省Web 2/9 2004)	ワシントン州で発症したBSEの調査の完了報告
160	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 2/19, 2004 (Newsdays.com 2/17, 2004)	イタリア国内で従来のBSEの細胞性プリオンタンパクとは明らかに異なる特徴を有し、孤発性CJDの特徴に類似したBSEが確認された。
161	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 10/12, 2003 (読売新聞2003年10月12日)	日本での8例目のBSE感染牛と異常プリオンの構造が同じと見られるウシ2頭が、2002年イタリアで確認されており、イタリアから輸入されたウシ由来の肉骨粉が感染源の可能性がある。
162	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol. 363, February7, 411-412	同じLancetの論文に対して意見を述べている。BSE動物の脳ホモジネートを経口及び静脈内投与して、感染実験をしているが、血液による推定感染力は数段低いと考えられる。この症例が輸血と無関係である可能性は極めて低い。
163	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol. 363, February7, 417-421	vCJD症状発症の3. 5年前に供血した供血者からの赤血球輸注を受けた受血者1例が6. 5年後に、vCJD症状を発症し、供血者、受血者が共にvCJDにより死亡していたことなどを報告している。

番号	感染症	出典	概要
164	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol. 363, February 7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。
165	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET Neurology 2003 (2) 757-763	スイス連邦においてクロイツフェルトヤコブ病の発生頻度が上昇したとの報告
166	クロイツフェルト・ヤコブ病	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349 (19) : 1812-20	スイスで1996年～2002年にCJDで死亡した36人の患者の神経系以外の組織を調査したところ、患者の約1/3から脾臓や骨格筋にPrPscを検出した。罹患期間が長いほど、神経系以外にPrPscが存在すると考えられる。
167	クロイツフェルト・ヤコブ病	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2004; 350 (6) : 539-542	米国でのvCJDに関する感染防止策の状況と見解
168	クロイツフェルト・ヤコブ病	Transcript, March 18, 2004, 151-161	15th TSE Advisory Committee Meeting 議事録より。輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、CDCはCJDサーベイランス対策を強化すべきである。また、カナダ産の米国乳牛のBSE診断例を受けて、農務省はBSE対策を強化すべきである。
169	クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2003; 43 (12) : 1687-1694	輸血によるvCJD感染の可能性を確認するため、vCJDモデルのマウスと非vCJDモデルのGSS病のマウスから調整した血液成分を各々健康なマウスの脳内に接種した。その結果、両者とも、バフィーコート、血漿に同等の感染性を示した。
170	クロイツフェルト・ヤコブ病	TSE in Animal Populations-Fact and Fiction 9/10-11, 2003	牛海綿状脳症と慢性消耗病について現在までの事実の報告。ウシにBSE感染牛の脳組織を与えた場合、0.01gでもウシが感染・発病することが明らかにされた。CWDについては、自然感染の証拠は未だに明らかになっていない。
171	クロイツフェルト・ヤコブ病	United States Department of Health&Human Services HP 2004/1/26	米国保健福祉省はBSEに対する現行の措置を強化することを発表した
172	クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA NEWS RELEASE 2003/12/23	2003年12月に米国で最初のBSE牛が発見された報告
173	クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA NEWS RELEASE RealeaseNo. 0432. 03	米国ワシントン州で飼育されていた歩行困難なホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEとして疑われた。
174	クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA STATEMENT Office of Communications (202) 720-4623	米国で判明したBSE感染ウシと共にカナダから移送された28頭およびその群れで生まれた25頭を含め、BSE検査は陰性であり、未回収のウシがBSE陽性である可能性は非常に低いと考えられている。
175	クロイツフェルト・ヤコブ病	英国Department of Health HP, Public Health Link 1/4, 2004	vCJD伝播のリスクに対する更なる予防措置として、輸血経験者からの供血資格者から除外すると発表した。
176	クロイツフェルト・ヤコブ病	英国Department of Health HP, Public Health Link 12/17, 2003	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
177	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP	茨城県の検査陽性牛について、病理組織学的検査等の結果を精査したところ、非定型的なBSEと判断された。